

2026 年 8 月 3 日

パラレル構造の新型栈橋 PG0 型 取扱開始のお知らせ

ヒロセ株式会社（本社：東京都江東区東陽、代表取締役社長：妹尾 好輝）は、2026 年 8 月 4 日より従来の H 形鋼栈橋に代わる新たなパラレル(並列)構造の仮橋・仮栈橋として「PG0 型」の取り扱いを開始いたします。これにより、仮栈橋設置時に発生していた擦り付け盛土の低減や作業の効率化を通じて、より安全な現場環境の構築を実現いたします。

1. 背景

従来の仮栈橋工事では、構造上の桁高があるため、アプローチ部分の擦り付け盛土の用地が多量に必要なことや急勾配な擦り付けを余儀なくされていました。また、高所作業が発生することから、現場からは「擦り付け高さを低くしたい」「より安全な施工環境で作業したい」といった作業効率や安全の確保を求める声が寄せられていました。

当社はこうした現場の課題を解決すべく、低桁高を実現する新構造仮栈橋「PG0 型」を開発いたしました。

2. お客様への提供価値

「PG0 型」は、ヒロセが提供する新たな仮栈橋として以下の「3 つのゼロ」を実現し、現場の省力化と安全性の向上に貢献いたします。

①覆工板がゼロ：桁と覆工板が一体となっており、覆工板の敷設作業が不要です。

②空中作業がゼロ：パラレル(並列)構造によって対傾構を省き、高所の危険を伴う空中作業が発生しません。

③背面土留めがゼロ：主桁にエンドプレートを採用しており、背面土留めを削減します。

3. 製品の概要

名 称：PG0 型（ピージーゼロがた）

設計荷重：120t クローラクレーン作業荷重（吊荷重 25t 程度）

幅 員：1.0m（製品幅） ※@1.0m で任意配置可能

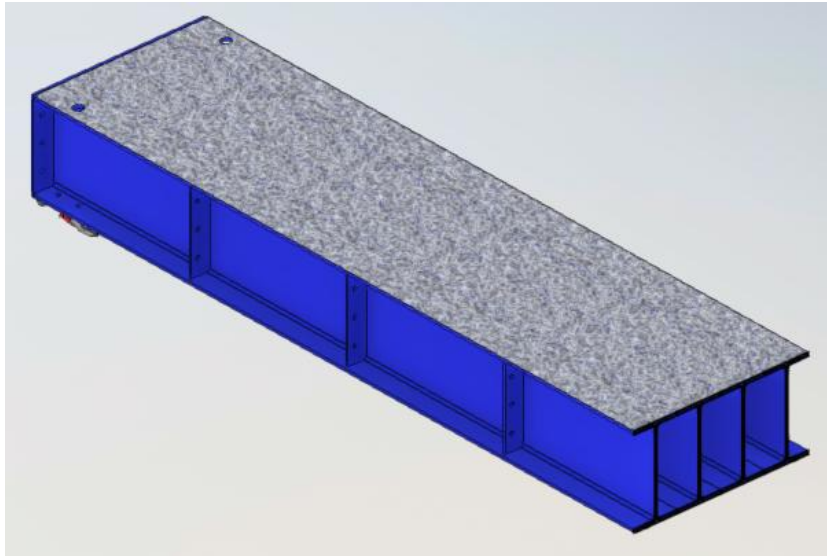
スパン：6.0m、8.0m（張出施工用桁 10.0m）

桁 高：400mm（スパン 6.0m の場合）／500mm（スパン 8.0m の場合）

材 質：SM490A

適用現場：仮橋、仮栈橋など従来の H 形鋼栈橋と同様にお使いいただけます。

<概要図>



概略構造イメージ

＜先行施工写真＞



(左) (都) 西九条佐保線 街路改良工事 / 奈良県

(右) R4 県道災害復旧中谷地区改良 (その 2) 工事 / 熊本県

以上

【お問合せ先】

ヒロセ株式会社 橋梁・架橋本部 松永雄介 TEL: 03-5634-4509

営 業 本 部 田川広史 TEL: 03-5634-4538

※8月4日は「橋の日」

1986年に「8(は)4(し)」の語呂合わせから提唱された「橋の日」。ヒロセはこれからも、安全で効率的な仮橋・仮栈橋の提供を通じて、インフラ整備と現場の安全構築に貢献してまいります。